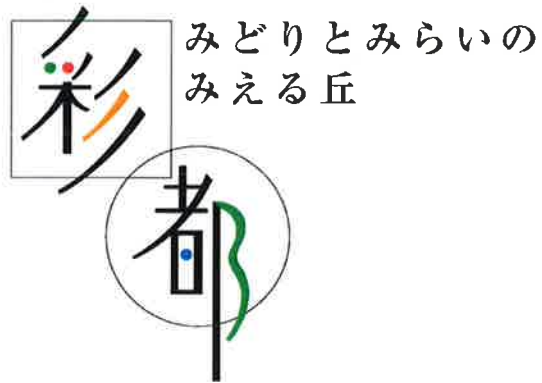


第27回総会 議案書



平成30年5月9日

彩都(国際文化公園都市)建設推進協議会

彩都（国際文化公園都市）建設推進協議会 第27回総会次第

〔日 時〕 平成30年5月9日（水）
午後2時 ～ 午後3時
〔場 所〕 千里ライフサイエンスセンター
5階「サイエンスホール」

1. 開 会

2. あ い さ つ

3. 委員等の就任及び変更の報告

4. 報 告 事 項

彩都事業の進捗状況について

5. 議 案

第1号議案 役員を選任について

第2号議案 平成29年度事業報告案及び収支決算案について

第3号議案 平成30年度事業計画案及び収支予算案について

6. 閉 会

特 別 講 演

〔時 間〕 午後3時 ～ 午後4時

「医療事故から学ぶリスクマネジメント」

大阪大学 理事・副学長 吉川 秀樹氏

役員選任案

会 長 松井 一郎 大阪府知事

副会長 西村 志郎 独立行政法人都市再生機構 理事・西日本支社長

監 事 福岡 洋一 茨木市長

監 事 勝田 達規 関電不動産開発株式会社 代表取締役社長

以 上

彩都（国際文化公園都市）建設推進協議会 平成29年度事業報告（案）

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

1 彩都のまちづくりの状況

西部地区については、大型集合住宅や宅地の分譲が進んだこと等により、世帯数、人口が年々増加している。

平成29年6月には、千里中央から彩都西駅を經由し西部地区を巡回する阪急バスの新規路線が運行開始し、交通アクセスの利便性が向上した。

中部地区については、㈱万代の彩都物流センターやプロロジスパーク茨木に続いて、平成29年9月に三井不動産㈱のロジスティクスパーク茨木が稼働し、一大物流拠点が形成されている。また、周辺の事業用地においても、ライフサイエンスや新エネルギー分野の企業立地が進み、活用可能な全ての区画に立地が決定した。

東部地区については、中央東地区、山麓線周辺地区において造成工事が進捗し、山麓線周辺地区には資生堂の（新）大阪工場及び物流拠点、阪急電鉄と三菱地所共同の大型物流施設の建設が決定している。

先行地区以外のエリアについても、本年3月25日に開催された地権者協議会総会において、全体開発計画案の承認がなされたところである。



2 主要事業活動項目

(1) 企画調整活動

① 総会等の開催

会議名	開催日及び主な議題等
総会 第25回	○平成29年5月11日 (報告事項) 彩都事業の進捗状況等について (議案) 平成28年度事業報告案及び収支決算案について 平成29年度事業計画案及び収支予算案について
幹事会 第29回	○平成29年4月20日 ・彩都事業の進捗状況等について ・平成28年度事業報告案及び収支決算案について ・平成29年度事業計画案及び収支予算案について
〃 第30回	○平成29年9月29日 ・「彩都次世代交通研究会」の設置について(案) ・彩都東部地区の進捗状況について ・要望活動について
事務局会議 第102回	○平成29年4月14日 ・彩都事業の進捗状況等について ・平成28年度事業報告案及び収支決算案について ・平成29年度事業計画案及び収支予算案について
〃 第103回	○平成29年7月20日 ・平成29年度のPR事業について ・「彩都次世代交通研究会」の設置について(案)
〃 第104回	○平成29年11月10日 ・平成30年度事業計画素案及び収支予算素案について
〃 第105回	○平成30年1月11日 ・平成29年度事業報告素案について ・平成30年度事業計画素案及び収支予算素案について
2号・3号 委員懇談会	○平成30年1月25日 ・彩都事業の進捗状況について ・平成29年度事業報告素案について ・平成30年度事業計画素案及び収支予算素案について

② まちづくり関係の協議調整

〔西部地区・中部関係〕

彩都の良好なまちづくりを推進するために必要な協議調整を行った。

[東部地区関係]

中央東地区、山麓線周辺地区の事業促進に向けた調整や、東部地区の新たなまちづくりや土地利用計画案の作成に向け、関係者間の協議調整を行った。

(2) 広報活動

① 広報誌の発行・配布

広く一般に向けて、彩都の魅力を内外に発信するため、イベント等で「彩都こち通信」を配布した。また、彩都などでのイベント、凸凹たんけん隊活動などに関する情報を提供するため、広報誌「彩都 News」や「彩都凸凹しんぶん」を発行した。

■ 「彩都こち通信」の配布

- ・ロハスフェスタ（春・秋）、彩都凸凹プロジェクト、大阪モノレール沿線（彩都）リレーイベント等で配布

■ 広報誌「彩都凸凹しんぶん」（裏面「彩都 News」）の発行

- ・第 48 号～第 55 号を発行し、彩都内小中学校全校生徒への配布、彩都内商業施設への配架、大規模マンション管理組合への配布等を行った。

② インターネット・ホームページ、パンフレット、イベント参加による広報活動

彩都建設の理解促進や彩都の認知度向上を図り、住宅立地・企業誘致を促進するため、インターネットによる情報提供や各種イベントに参加し、パンフレットを配布するなど積極的な広報に努めた。

参加した主なイベント名	開催日及び場所	PR 内容
ロハスフェスタ®万博 2017 Spring (主催) ロハスフェスタ運営事務局	平成 29 年 5 月 19 日～21 日 万博記念公園	ブース出展 ほか
鉄道の日モノレールちびっこまつり (主催) 大阪高速鉄道㈱	平成 29 年 10 月 28 日 万博記念公園駅・構内	彩都凸凹 たんけん隊 の実施
ロハスフェスタ®万博 2017 Autumn (主催) ロハスフェスタ運営事務局	平成 29 年 11 月 3 日～5 日 万博記念公園	ブース出展 ほか
彩都バ インキュベーション施設平成 29 年度一般公開 (主催) 彩都バ インキュベーション施設一般公開 実行委員会	平成 29 年 11 月 11 日 彩都ライフサイエンスパーク	パネル展示
キラリ・発見! いばきたハイウェイウォーク (主催) 茨木市	平成 29 年 11 月 23 日 茨木千提寺 PA	パネル展示 パンフ・ エコバッグ 配布

新名神高速道路開通式典 (主催) NEXCO 西日本 (西日本高速道路)	平成 29 年 12 月 10 日 高槻 JCT・IC	パネル展示 ほか
梅花クリスマスイブニング 2016 (主催) 梅花女子大学	平成 29 年 12 月 16 日 梅花女子大学	彩都凸凹 たんけん隊 の実施



ロハスフェスタ(春)



大阪モノレールちびっこまつり



ロハスフェスタ(秋)



ライフサイエンスパーク一般公開



いばきたハイウェイウォーク



梅花女子クリスマスイブニング

③ 企業誘致活動

彩都西部地区の施設導入地区、中部地区に、ライフサイエンス分野を中心にイノベーションな企業や研究機関の集積を図るため、関係者間で構成する「誘致支援チーム会議」において情報の交換や共有を図るとともに、彩都現地見学会の実施、国際的なバイオ関連見本市等における情報発信活動や、誘致対象企業・研究機関に対する企業訪問などを行った。

また「日経ビジネスイノベーションフォーラム」や、「大阪を語る東京の会」において、彩都のまちづくりについてPR活動を行った。

参加した主なイベント名	開催日及び場所
第 163 回国際バイオテクノロジー展／技術会議 BioTech 2017 主催：リード エグジビション ジャパン(株)	平成 29 年 6 月 28 日～30 日 東京ビッグサイト
日経ビジネスイノベーションフォーラム 主催：日本経済新聞社	平成 29 年 8 月 28 日 大和ハウス工業大阪本社
第 19 回バイオジャパン 主催：BioJapan 組織委員会	平成 29 年 10 月 11 日～13 日 パシフィコ横浜
彩都現地見学会 主催：大阪府商工労働部 共催：彩都建設推進協議会	平成 29 年 10 月 24 日 CUBE3110 彩都西部、中部、東部地区
大阪を語る東京の会 主催：大阪府東京事務所・大阪市東京事務所	平成 29 年 11 月 27 日 関西大学東京センター
彩都産学官連携フォーラム 主催：彩都産学官連携事業実行委員会	平成 30 年 1 月 24 日 千里ライフサイエンスセンター
第 4 回自動車部品&加工 EXPO 主催：リード エグジビション ジャパン(株)	平成 30 年 1 月 17 日～19 日 東京ビッグサイト
第 8 回医療機器開発・製造展 主催：リード エグジビション ジャパン(株)	平成 30 年 2 月 21 日～23 日 インテックス大阪



バイオジャパン



彩都現地見学会



日経ビジネスイノベーションフォーラム



大阪を語る東京の会

④要望活動

彩都東部地区のまちづくり及び関連事業の推進に向けた国への要望活動を行った。



要望日：平成 30 年 2 月 13 日（火）

場 所：国土交通省

要望先：国土交通大臣

国土交通省幹部 他

出席者：大阪府、茨木市、箕面市

(3) 関連施策推進調整事業

① 都市環境デザインの調整（開発届出制度含む）

彩都西部地区や中部地区で新たに建設される施設等について、都市環境デザインに係る具体的な協議・調整を実施。

② ライフサイエンス・イノベーション研究開発産業拠点の形成

バイオ・ライフサイエンス分野の技術シーズとベンチャーキャピタル等をつなげ、起業や技術移転、事業提携等のビジネス化を促進するとともに、北大阪バイオクラスターを中核としたバイオ企業の集積を図るため、彩都ライフサイエンスパークの連携組織「彩都ヒルズクラブ」に参画し、そこでのセミナー、展示会などの参加者への PR や企業誘致活動を実施。

③ 彩都のまちづくり促進事業

彩都の里山環境と生物多様性の保全に向けて、地元小・中学生に対する自然体験や環境教育、彩都における生物の生息状況調査などを含めた総合的な活動として彩都凸凹プロジェクトを展開している。これらの活動を通じ、西部地区の中心を流れる川合裏川と彩都西公園や、箕面市域に整備された彩都なないろ公園、さらにその周辺の緑化を含めた「みどり空間」を舞台にして自然素材を活用しながら、子どもたちを中心に親世代や祖父母世代を含めた住民自らが体験し交流する場づくりを目指していく。

■ 平成 29 年度 彩都凸凹プロジェクトの実施状況

実施日	活動場所・活動内容	主な参加者
平成 29 年 6 月 25 日(日) 第 40 回凸凹たんけん隊	彩都西公園管理棟 ・昆虫科学教育館企画によるワークショップ(第 1 回) 「紙工作で昆虫標本をつくろう！」	54 名
平成 29 年 7 月 6 日(日) 環境教育イベント	彩都の丘学園体育館 ・大阪大学環境サークル GECS による環境運動会 「環境×運動会」	約 40 名
平成 29 年 7 月 30 日(日) 第 41 回凸凹たんけん隊	彩都西公園管理棟 ・大阪大学環境サークル GECS によるワークショップ(第 1 回) 「木づかい運動について学ぼう！」	51 名
平成 29 年 10 月 5 日(火) 凸凹特別授業	彩都の丘学園(彩都なないろ公園) ・昆虫科学教育館、水生生物センターによる特別授業 「彩都なないろ公園での環境教育」	彩都の丘学園 3 年生 約 130 名
平成 29 年 10 月 23 日(木) 凸凹特別授業	彩都西小学校 ・水生生物センターによる特別授業 「校内ビオトープでの環境教育」	彩都西小 自然科学 クラブ 約 30 名
平成 29 年 11 月 12 日(日) 第 42 回凸凹たんけん隊	彩都西公園管理棟 ・昆虫科学教育館によるワークショップ(第 2 回) 「モビールをつくろう！」	65 名
平成 29 年 12 月 17 日(日) 第 43 回凸凹たんけん隊	彩都西公園管理棟 ・昆虫科学教育館によるワークショップ(第 3 回) 「彩都の森の木をイメージしたジオラマをつくろう」	62 名
平成 30 年 2 月 4 日(日) 第 44 回凸凹たんけん隊	彩都西公園管理棟 ・大阪大学環境サークル GECS によるワークショップ(第 2 回) 「まほうのエコたわしをつくろう！」	38 名
平成 30 年 2 月 1 日(木) 凸凹特別授業	彩都の丘学園 ・昆虫科学教育館、水生生物センターによる特別授業 「10 月の特別授業を受けて看板デザインを作成」	彩都の丘 学園 3 年生 約 130 名
平成 30 年 2 月 19 日(月) 凸凹特別授業	彩都の丘学園・彩都の丘学園特別授業 「彩都なないろ公園看板デザイン選考会」	—
平成 29 年 3 月 11 日(日) 第 45 回凸凹たんけん隊	彩都西公園管理棟 ・大阪大学環境サークル GECS によるワークショップ(第 3 回) 「環境問題 カルタを楽しもう！」	30 名



第40回凸凹たんけん隊



第41回凸凹たんけん隊



第42回凸凹たんけん隊



環境教育イベント「環境×運動会」



水生生物センターによる特別授業



昆虫科学教育館による特別授業

④ 東部地区の事業化に向けた調査

東部地区の土地利用ゾーニング図素案を基に、彩都東部地区地権者協議会や関係行政機関等と協議・調整を進め、産業系中心に変更した「土地利用計画案」の取りまとめを行った。

⑤ 次世代交通まちづくり研究会の設置

モノレールの代替交通としてのバス導入を見据え、飛躍的に技術向上している自動運転技術の導入に関する検討など、彩都の将来交通の在り方について検討を行うため、研究会を設置した。

彩都(国際文化公園都市)建設推進協議会 平成29年度収支決算書(案)

[自 平成29年4月 1日]
[至 平成30年3月31日]

[収入の部]

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 引	備 考
通常分担金	25,884,000	25,884,000	0	
	(3,814,000)	(3,814,000)	(0)	大阪府
	(3,814,000)	(3,814,000)	(0)	地元市(茨木市、箕面市)
	(3,814,000)	(3,814,000)	(0)	(独)都市再生機構
	(11,442,000)	(11,442,000)	(0)	彩都(国際文化公園都市)建設民間事業者連絡会
	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)	規約第6条第2号及び第3号に定めるもの
特別分担金	0	0	0	
	(0)	(0)	(0)	
雑 収 入	0	30	30	預金利息
繰 越 金	10,639,844	10,639,844	0	前期繰越金
	(10,639,844)	(10,639,844)	(0)	通常分
合 計	36,523,844	36,523,874	30	

[支出の部]

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 引	備 考
一般管理費	13,460,000	13,061,436	398,564	事務所賃借料、光熱水費、通信運搬費、事務費等
運営事業費	2,500,000	2,121,920	378,080	旅費、印刷費、総会等
広報活動費	7,957,000	3,148,406	4,808,594	パンフレット・機関誌の発行、催し・イベントの実施等
懇話会等運営費	100,000	0	100,000	参与会
関連施策推進 調整事業費	10,500,000	5,394,341	5,105,659	
		(626,400)		都市環境デザインの調整
		(400,000)		ライフサイエンス・イノベーション研究開発産業拠点の形成
		(3,229,826)		東部地区検討調査、パンフ作成、国家要望
		(1,077,362)		彩都のまちづくり促進事業
		(60,753)		次世代交通の検討
予 備 費	2,006,844	0	2,006,844	通常分
合 計	36,523,844	23,726,103	12,797,741	

収 入 合 計 36,523,874 円

－ 支 出 合 計 23,726,103 円

繰 越 金 12,797,771 円

監 査 報 告 書

私、監事は、当協議会の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの業務執行状況及び財務状況を監査するため、関係書類について精査いたしました。

監査の結果、業務執行状況に関し、法令若しくは規約に違反する事項はなく、また、収支決算書は適法かつ正確であると認めます。

以 上

平成30年4月16日

彩都（国際文化公園都市）建設推進協議会

監 事 福 岡 洋 一



監 事 勝 田 達 規



彩都（国際文化公園都市）建設推進協議会
平成30年度事業計画（案）

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

1. 平成30年度の事業計画

(1) 企画調整活動

① 総会等の開催

協議会の運営に関する重要な事項を審議するため、総会を適宜開催する。
また、総会に付議すべき事項及び総会が議決した事項の執行について審議するため、適宜幹事会を開催する。
さらに、幹事会構成団体の事務担当で構成する事務局会議を年4回程度開催し、協議会活動等に関する情報交換を行う。

② 部会等の開催

特定の課題について、調査研究や施策推進に資するため、必要に応じ協議会に設置した部会や検討会を開催する。

③ まちづくり関係の協議調整

西部地区・中部地区については、まちづくりに関する必要な調整を行うなど、良好なまちづくりを推進する。

東部地区については、新たな土地利用計画を基に都市計画変更に向けた関係者間の協議・調整を行う。

(2) 広報活動

① 広報媒体の活用やイベントによる広報活動

彩都のブランドイメージと認知度の向上を図るとともに、事業の進捗状況や周辺情報などを広く提供するため、パンフレットの改訂・配付や情報誌の発行、インターネットを通じた情報提供を行う。また、ロハスフェスタ等の集客イベントでのPR活動を実施する。

② 誘致広報活動の推進

彩都西部地区にバイオ・ライフサイエンス分野を中心にイノベーションな企業や研究機関の集積を図るため、関係者間で組織する「彩都施設立地推進会議」や「誘致支援チーム会議」において情報の交換や共有を図るとともに、東部地区におけるプロモーション活動をより積極的に展開し、各種見本市等における情報発信活動や、誘致対象企業・研究機関に対する情報提供などを行う。

(3) 彩都の形成に関する関連施策推進調整事業

① 都市環境デザインの調整

都市再生機構や開発事業者、立地企業などの2次開発や施設整備にあたり、「都市環境デザイン基本計画」に基づき、関係者と協議、調整を行う。

② ライフサイエンス等の研究開発産業拠点の形成

バイオ・ライフサイエンス分野を中心にイノベーションな企業や研究機関の集積と交流を図るため、彩都ライフサイエンスパークの連携組織「彩都ヒルズクラブ」に参画し、そこでのセミナーや展示会などの参加者へのPRや企業誘致活動を行う。

③ 東部地区まちづくり検討の実施

彩都東部地区全体の事業化を図るべく、関係者と協力し、都市計画変更に向けた検討を行う。また、東部地区のプロモーション活動を実施する。

④ 彩都のまちづくり促進事業の実施

彩都の里山環境と生物多様性の保全、住民の多世代交流の場づくりのため、彩都凸凹たんけん隊の活動、地元小・中学生に対する自然体験や環境教育などの特別授業、彩都における生物の生息状況調査などを含めた総合的な活動として、「彩都凸凹プロジェクト」を引き続き展開する。

⑤ 次世代交通の検討

彩都東部地区の土地利用計画の変更に伴い、モノレール延伸が中止となり、代替の公共交通としてのバスの導入などの彩都の将来交通の在り方などを検討する。

彩都(国際文化公園都市)建設推進協議会 平成30年度収支予算書(案)

[自 平成30年4月1日]
[至 平成31年3月31日]

[収 入 の 部]

[単位：円]

科 目	29年度予算	30年度予算案	備 考
通常分担金	25,884,000 (3,814,000) (3,814,000) (3,814,000) (11,442,000) (3,000,000)	25,884,000 (3,814,000) (3,814,000) (3,814,000) (11,442,000) (3,000,000)	大阪府 地元市(茨木市、箕面市) (独)都市再生機構 彩都(国際文化公園都市)建設民間事業者連絡会 規約第6条第2号及び第3号に定めるもの
雑 収 入	0	0	預金利息等
繰 越 金	10,639,844 (10,639,844)	12,797,771 (12,797,771)	前期繰越金 通常分
合 計	36,523,844	38,681,771	

[支 出 の 部]

[単位：円]

科 目	29年度予算	30年度予算案	備 考
一般管理費	13,460,000	14,000,000	事務所賃借料、光熱水費、通信運搬費、事務費等
運営事業費	2,500,000	3,000,000	旅費、印刷費、総会等
広報活動費	7,957,000	7,377,000	パンフレット・機関誌の発行、催し・イベントの実施等
懇話会等運営費	100,000	100,000	参与会等
関連施策推進 調整事業費	10,500,000	12,200,000	都市環境デザインの調整 ライフサイエンス・イノベーション研究開発産業拠点の形成 彩都のまちづくり促進事業 東部地区まちづくり検討の実施、プロモーション活動 次世代交通の検討
予 備 費	2,006,844	2,004,771	
合 計	36,523,844	38,681,771	

委員・特別委員及び参与の就任、変更について
(敬称略)

【就任】

(委員・監事)

関電不動産開発株式会社 代表取締役社長
勝田 達規 (平成29年9月1日)

(委員)

阪急電鉄株式会社 代表取締役社長
杉山 健博 (平成29年4月1日)

学校法人大阪経済大学 理事長
藤本 二郎 (平成29年9月6日)

株式会社三井住友銀行 頭取CEO
高島 誠 (平成29年6月1日)

大阪高速鉄道株式会社 代表取締役社長
吉村 庄平 (平成29年9月6日)

サントリー興産株式会社 代表取締役社長(調整中)
富田 真人 (平成30年3月28日)

パナソニック株式会社 施設管財部部長(調整中)
松田 雅信 (平成30年4月1日)

(特別委員)

公益社団法人関西経済連合会 会長
松本 正義 (平成29年6月29日)

一般社団法人関西経済同友会 代表幹事
鈴木 博之 (平成29年6月14日)

国立民族学博物館 館長
吉田 憲司 (平成29年5月11日)

国立研究開発法人産業技術総合研究所 関西センター所長
角口 勝彦 (平成29年4月19日)

地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所 理事長
奥野 良信 (平成29年4月26日)

公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構 常務理事
中川 雅永 (平成29年8月1日)

NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 理事長
田中 隆治 (平成29年6月1日)

(参 与)

大阪府市長会 会長
阪口 伸六 (平成29年6月21日)

茨木市議会 議長
桂 睦子 (平成30年2月28日)

【 変 更 】

(前) 阪急不動産株式会社 代表取締役社長(3号委員)
諸 富 隆 一
↓
(後) 阪急阪神不動産株式会社 代表取締役社長(1号委員)
若 林 常 夫 (平成30年4月1日)

(前) 阪急電鉄株式会社 代表取締役社長(1号委員)
杉 山 健 博
↓
(後) 阪急電鉄株式会社 代表取締役社長(3号委員)
杉 山 健 博 (平成30年4月1日)

(前) 大阪医薬品協会
↓
(後) 関西医薬品協会
(平成30年1月1日)

(前) 株式会社三菱東京UFJ銀行
↓
(後) 株式会社三菱UFJ銀行
(平成30年4月1日)